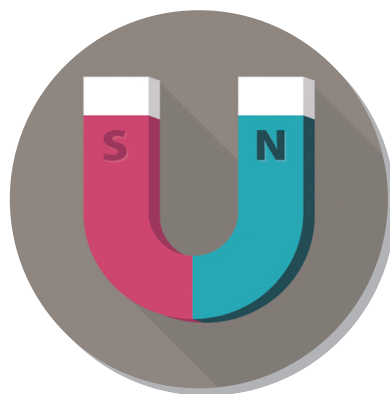
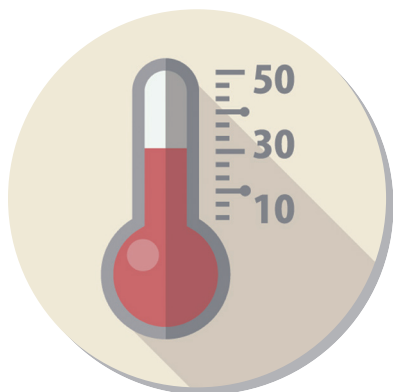


苫小牧工業高等専門学校

高専通信

National Institute of Technology, Tomakomai College



新入生へ贈る言葉
各副校長ご挨拶
新入留学生紹介
卒業生・修了生へ贈る言葉
平成 29 年度進路状況

vol.148

新入生へ贈る言葉

苦小牧工業高等専門学校 第九代校長

黒川 一哉

苦小牧工業高等専門学校に入学されました新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今年度は、外国人留学生三名を含めた、本科生二百三名と、専攻科生二十六名の合計二百二十九名の学生が本校に入学致しました。ご家族の皆様にとりまして、お慶びはひと塩のことかと存じます。本校教職員ならびに在校生を代表して心からお祝いを申し上げます。

皆さんが入学されました苦小牧高専は、全国に設置された国立工業高等専門学校第三期校の一つとして昭和三十九年度に創設され、以来七千九百名以上の優秀な卒業生・修了生を社会へ送り出してきました。卒業生・修了生は産業界を中心に学界、行政機関など広範な分野において活躍し、工業および科学立国を標榜する我が国のものづくり技術を通して、社会の発展に大きな貢献を果たしております。皆さんの諸先輩の長年にわたる活躍が、本校の高い評価に繋がっております。皆さんもその仲間入りをするようになるわけですが、入学に際し、本校の教育理念を先ずは頭に入れておいていただきたいと思ひます。それは、「豊かな人間性及び自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人を育てる」ことです。この中には二つの重要なキーワードが入っております。

ひとつは人間性です。人の社会はそれぞれ固有の考え方を持った人で構成されています。もちろん自分の考えと合う人あるいは合わない人がいますが、合わない人の考えも理解する姿勢を持つていただきたいと思ひます。他の人思いやる寛容な心を持ち、難題に立ち向い解決することができ、そして社会に貢献できる人に育っていただくことを願っています。特に、皆さんが入ってゆく未来社会はグローバル化がさらに進み、習慣や考え方が異なる人々を理解して始めて地域社会あるいは世界に貢献できる技術者になれると思ひます。

もうひとつのキーワードは自主自律の精神です。皆さんは、この入学式から大学と同じ位置づけになる高等教育機関で学ぶこととなります。これまで小学校、中学校である程度定められた範囲内で勉強をしてきたかもしれません、これからは無限に広がった工学、科学の道に踏み込むこととなります。受け身型から脱却し、「自ら進んで」勉強するんだという気構えを持つていただきたいと思ひます。もちろん皆さんは本校で工学の基礎を学ぶことになるのですが、それは科学や工学のファーストステップに過ぎません。その奥にはまだ見たことのない無限の広がりがあります。その見えない道を自主自律の精神で切り開く準備をしつかりとしてください。

現在は第四次産業革命時代に入っていると言われています。これまでの産業革命とは比較にならないほど社会構造も大きく変革してくることが予測されています。どのように変化しようと、もつとも大事なことは、リベラルアーツと言われているいわゆる社会科学系科目を含めて基礎をしっかりと身に付けることです。是非このことを認識して幅広い知識を身に付け、それを活用できるように自ら研さんする努力をしてください。皆さんには、日本および世界の状況を鑑み、自分が将来どのような分野で、どのような形で社会に貢献したいのかという目標をできるだけ早くもち、そのために今何をすべきかということに常に考えて、有意義な五年間を苦小牧高専で過ごしていただきたいと思ひます。また、勉学のみならず、クラブ活動、寮生活、ボランティア活動など様々な活動に積極的に参加し、人間としての幅と奥行きを広げ、自主自律の道を拓く力をつけて下さい。本校には皆さんの支えになる優秀な教職員が揃っております。不安なことなど教職員の方々に何でも気軽に相談してください。

最後になりますが、皆さんには、苦小牧高専の学生としての自覚と誇りを持ち、充実した有意義な学生生活を通して、技術者としての素養と能力とを磨き上げ、自信をもって苦小牧高専を巣立ってくださることを教職員一同強く願っております。

平成三十年四月四日



在校生からのメッセージ

機械工学科5年 富樫 拓夢



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。最初の頃は女子の少なさや勉強の難しさに、入学を後悔することもあると思います。ですが、高専に入ってよかったと思う日が必ず来ます。たとえ勉強があまりできなくとも課題をしっかりやっておけば留年はしません。僕がそうです。そして、僕達機械系は融かして削って切っていくように THE・ものづくりな学科です。なのでものづくりが好きな人にはもってこいです。1年後、僕達の後輩になってくれることを期待しています。

環境都市工学科5年 田村 駿介



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはこれから普通の高校生とは少し違う生活を歩むことになると思います。高専は高校と全く違うカリキュラムで専門知識を勉強します。都市・環境系では、水、土、構造を主に学びます。また、外での実習が多い科となり、公共性の高い仕事に就職することができます。5つの系の中から自分に合った、悔いの残らない選択をしてください。これからの5年間をどう過ごすかはあなた次第です。勉強だけではなく、部活動や学校行事にも積極的に参加し、たくさんの思い出を作ってください。皆さんの高専生活が充実したものになるよう応援しています。

物質工学科5年 八戸 さくら



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高専での生活には慣れましたか。2年生以降、自分がどのような分野で勉強するか決まる大事な1年間になると思います。自分に合った系に進めるように1年間頑張ってください。応用化学・生物系では学生実験や授業を通して化学分野について深く学ぶことができます。化学が好きな人、実験が好きな人、少しでも興味のある人は、先輩や系の先生方にたくさん質問して欲しいと思います。5年間の高専生活が充実したものになるよう心から願っています。

電気電子工学科5年 森 貴哉



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。電気は、私たちの仕事や日常生活など、どのような場面でも必要不可欠なものです。そのため、電気電子系は活躍の場が広く、求人数が多いという特長があります。高専での5年間は長いようで短いものです。まずは、勉強や部活、行事など興味があることに挑戦してみてください。また、先輩や同級生、先生方とたくさん話してみてください。きっと新しい発見があると思います。それを胸に、学年末では悔いのない系選択をして下さい。皆さんが素晴らしい高専生活を送れるよう願っています。

情報工学科5年 菊池 雄登



新入生のみなさん、入学おめでとうございます。高専にとっての5年とは長いようでいてとても短いものです。部活や行事はもちろん、実験にレポートとほかの高校ではきっと経験できない様々な経験ができるはずです。ぜひ、この高専生活を振り返った際に、後悔が生まれないように何事にも全力で取り組んでください。みなさんが充実した学校生活を送れるよう応援しています。

1年1組担任 中野 渉

創造工学科3期生 200 名のみなさんへ

入学から2、3か月、学校生活に少し慣れてきた人も、「まだ」という人もいますが、少しずつ慣れればいい。焦らなくても大丈夫です。「一步一步」です。あきらめず前進すれば必ずみなさんの目標に近づけます。さて、皆さんは苫小牧高専という「ちょっと不思議な学校」を選んだわけですが、結論から言うと「正解!」。高校+大学で学べないことがいっぱい学べます。校舎も最近の改修できれいになり、大型実験機器も一新されたばかり。「創造工学」など、高校にはない体験型授業もあります。最高のタイミングで入学できましたね。もちろん勉強も頑張ってください。ですが、「人として立派になること」はそれ以上に大事です。これから5年間、いろいろな体験をし、学生たちで力を合わせながら、心身ともに健康で「立派な人」に成長することを願っています。

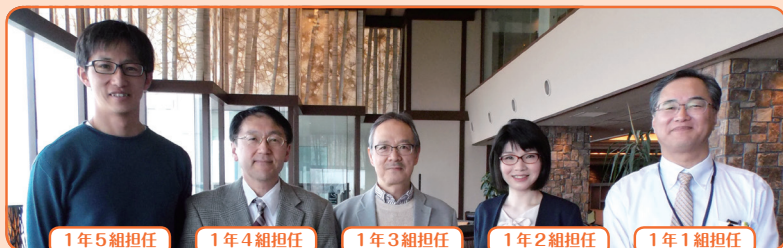
1年2組担任 片山 ふゆき

実り多き5年間を

4月4日の入学式に始まり、対面式、初めての授業、一泊二日のオリエンテーションと、全てが新しく、目まぐるしい日々を過ごしていると思います。これからの5年間、皆さんを待ち受けているのは、これまで体験したことのないこと、触れたことのないもの数々でしょう。それは楽しいものばかりでなく、時には苦しいものもあるかもしれません。そうした時に力を貸してくれるのが、ここで出会った友人達です。この2組というクラス自体は1年限りですが、是非、お互い手を取り合い、様々なことを共有する仲間として5年間をともに歩んでいってください。

1年5組担任 多賀 健 探求心を持ち、自己研鑽の日々を

4月の目まぐるしい日々が過ぎ、GWも明け、高専生活にはだいぶ慣れましたか? 5年という長いようで、短い高専生活。ぜひ高い志を持ち、仲間と刺激し合ってください。5年後の自分を作るのは、日々のあなた自身です。何となくの日々は、何となくの未来しか訪れません。興味関心は人それぞれ。まずは自分の好きなことへの探求をしてみてください。また、自分と同じように興味を持っている人は高専に限らず、北海道、日本全国、そして世界へとたくさんいるはずです。ぜひ勇気を出して、その人たちとコンタクトを取りましょう。チャンスがあれば会いに行きましょう。きっと自分の世界観を大きく広げてくれるはずです。そういった自己研鑽の日々が自分を成長させてくれます。「高専生活、あと〇年もある...」が「もう〇年しかない!」、そう思える日々が過ぎたら素敵ですね。共に学び合い、一緒に頑張ろう!



1年5組担任
多賀 健

1年4組担任
山下 徹

1年3組担任
夢沼 正美

1年2組担任
片山 ふゆき

1年1組担任
中野 渉

1年3組担任 夢沼 正美

3代目、創造工学科の皆さんへ

苫小牧高専への入学、おめでとうございます。皆さんは、これから5年間の学生生活の中で、たくさん笑って、そして皆さんの笑顔と出会うことになると思います。友だちとのたわいもない会話に大声で笑い合い、試験にギリギリ合格して思わず頬が緩んでしまう、体育大会で優勝すればクラスみんなでスカッと笑い、先生のしょうもないダジャレにはお付き合いで笑ってくれる、……そして最後は、卒業の時の晴れ晴れとした笑顔!!

そうした「笑顔」がひとつでも多く皆さんのところに届く、そして仲間にも届けられる、そんな5年間にしてもらえたらと思います。

おそらくいろんなことがあるでしょう。それでもしかし、最後に皆さんが、「ああ、よかったな。」と思って巣立っていってくれることを願っております。

1年4組担任 山下 徹

期待と不安の中にいる1年生の皆さんへ

皆さん、高専生活を楽しんでますか? 入学後2ヶ月近くが経ち、だいぶ高専生活にも慣れてきたことだと思います。もっともクラスの仲間には慣れてきても、2時間連続してある授業や内容の難しさに慣れるにはまだまだ時間が必要だと思います。しかし今皆さんの勉強していることは将来にもとても重要になりますのでいろいろ戸惑うことがあっても地道に勉強してほしいと思います。私は年長なので、さぞかし高専での教員経験が長いと思われるかもしれませんが高専に来てから1年半しか経っておらず、担任を受け持つのも初めてです。私も皆さんと一緒に勉強して、いろいろ経験して成長していきたいと思っています。「学び」に年齢は関係ありません。共に頑張りましょう。

各副校長ご挨拶

副校長（総務主事） 古崎 毅



本年度も総務主事を務めます古崎毅（応用化学・生物系）です。総務主事補の稲川清教授（情報科学・工学系）、高橋芳太准教授（総合自然科学系）と共に、全教職員の協力も得てニュージーランド・EIT、香港・THEi、タイ・カセサート大学への学生の派遣支援、種々の学校行事等の情報発信をして参ります。また、学校の種々のシステムの点検評価、防災対策や施設設備改善の計画立案など、学生・教職員が安心して勉強・仕事に励むことができる環境整備にも努めて参ります。

本校は創造工学科に改組して3年目を迎えました。新たな教育プログラムに基づいて、3年生では専門科目の割合が2年次より多くなります。

また、2年生は自ら志望した専門系に配属され、専門基礎科目の教育が始まりました。保護者・同窓生・地域の皆様におかれましては、今後とも学校の改革・学生の教育にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副校長（教務主事） 八田 茂実



昨年度より引き続き教務主事となりました八田です。教務主事補の松田先生、佐々木先生、大橋先生、全教職員と協力してより良い学校を目指します。平成28年度から再編された創造工学科も本年で3年目を迎え体制も整ってまいりました。現在4～5年生の5学科と教育体制が混在している状況ですが、授業方法の改善やICT機器の積極的な利用を進めながら、よりよい教育環境を提供できるよう努めてまいります。保護者・地域・同窓生のみならず、未来を担う学生達のためにご協力いただきますよう、今後とも宜しくお願い致します。

副校長（学生主事） 中島 広基



今年度も引き続き副校長（学生主事）を担当することとなりました創造工学科の中島です。池田、赤塚、櫻村の三主事補とともに、学生生活全般の指導・助言・支援を行ってまいります。

学校は勉学の場合であると同時に、青春時代の多くの時間を仲間とともに過ごす生活の場合でもあります。日々の生活の中で心が揺れ動くこともあるかと思いますが、そういった経験も含めて学生諸君の学校生活が、健全かつ心豊かに光り輝く日々となるよう、教職員一同全力で支援してまいります。

今年度も保護者をはじめ関係各位のご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

副校長（寮務主事） 見藤 歩



寮務主事を務めます機械系の見藤です。現在学生寮では留学生10名を含め男子296名、女子59名の合計355名が寮生活を送っております。蒼冥寮（男子）、楓和寮（女子）では私の他4名の教員（寮務主事補）、2名の事務職員と1名の事務補佐員、並びに3名の女子寮寮母の体制で寮生の指導を行っております。入寮より2カ月が経過し、新入寮生も徐々に寮での生活に慣れてきたようです。その間、寮生会主催の新入寮生歓迎会、寮生総会、学生寮防災訓練などが行われており、6月には寮祭が開催されます。寮生会が企画した各種イベント、スポーツ大会の他、学校長を招いたジンギスカン昼食会などが予定されています。また、5年生指導寮生も卒業後の進路が順調に決定しているようです。

保護者の皆様におかれましては、今後の寮運営に際し様々な場面でご協力を得なければならないことが多々ございます。皆様のご理解とご協力を今後ともよろしくお願い致します。

副校長（専攻科長・研究主事） 村本 充



専攻科長と研究主事を務めます総合自然科学系の村本です。専攻主任の二橋創平准教授（機械系）と渡辺暁央准教授（都市・環境系）と協力しながら専攻科の運営に努めていきますのでよろしくお願い致します。

昨年度、専攻科の新しいカリキュラムについて、昨今の急速な社会の変化に対応し、魅力ある教育内容とすべく検討を始めました。創造工学科1期生の進学に間に合うよう作業を進めてまいります。

さて、これからのAI社会においては、課題解決の力だけでなく、課題発見の力が求められます。専攻科学生には、特別研究や共同教育等の総合的な学習経験を通じて、創造的思考力や汎用的技能を身につけて欲しいと願っています。

今後、地元企業と連携した共同教育を拡充し、地域創生に貢献したいと考えておりますので、お力添え頂ければ幸いです。

新任教員挨拶

創造工学科 機械系 教授 當摩 栄路



この度、山形県の鶴岡高専・創造工学科機械コースから苫小牧高専・創造工学科機械系の教員として着任（異動）しました當摩栄路と申します。材料力学、機械工学実習、機械設計製図、品質システム工学、生産工学を担当します。

主な研究分野としては、品質工学（タグチメソッド）の適用による生産プロセスの品質管理技術や『パラメータ設計』による新技術開発・品質評価技術及び『MT システム』による予測・診断・解析技術に関する研究に取り組んでいます。

出身は苫小牧市で、高校生まで在住していました。関東の工業系大学を卒業後、自動車関連企業に就職し、モノづくりにおける生産技術や品質管理業務に約 30 年間従事しました。

また、海外工場（米国）の立ち上げ業務に関わる技術スーパーバイザーとしての経験もあります。今後は企業での経験を活かして、工業界のあらゆる分野で実践的に活躍できる創造性豊かな国際的工科系プロフェッショナルエンジニアの育成を目指して、学生の皆さんと共に頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

創造工学科 機械系 助教 土谷 圭央



創造工学科機械系へ着任しました土谷です。

私は、旭川高専を卒業し、室蘭工業大学に編入して、大学院から北海道大学に移りました。高専・大学・大学院と学ぶ場を変えながら、ロボティクスを中心に機械・電子・情報・材料など幅広く工学分野に触れました。これまでは、人間計測を中心とした研究として、腰の負担の見える化技術と、腰部負担に対する支援技術の研究を行ってきました。高専でも、人間機械系・人間支援技術を中心とした研究として、人間の動作や特徴量を取得し、身体内部を考慮した支援技術の開発などを行っていききたいです。また、学生時代は、高専ロボコンや Honda エコマイレージチャレンジに参加し、モノづくりから知識と技術を学んできました。

高専では、必要な知識を座学で学び、実習や実験によって座学で学んだことを実践できるため、技術者になる上でとてもよい環境だと思っています。このため、自分が行う授業では学生のためになるように、今学んでいることが何に使うことができるのかを理解してもらえように行っていきたいです。学生の皆様が良い技術者となる手助けが少しでもできるように、教員として至らない点もあると思いますが、学生指導と研究を頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

創造工学科 都市・環境系 助教 谷口 陽子



皆さんこんにちは。室蘭工業大学から来ました、谷口陽子です。この 4 月から都市・環境系に配属されます。

大学では水理学や水文学といった、水の中でも河川においてどのような現象が起きるか、ということを研究していました。

例えば、洪水のとき、水量はどれぐらいになるのか、その時の防災対策はどうすべきか？といった現状での課題解決に向けた研究や、100 年後の将来では、はたして北海道の水資源は減るのか？私たちの今の生活は維持できるのだろうか？といった気候変動への適応策という、幅広く私たちの生活に密着した研究を行ってきました。ここでも皆さんと一緒に沢山勉強や研究を行って地域社会に貢献したいと思っています。

趣味はマラソンやダムカード収集（知っている方ぜひダムについてお話ししましょう！）、道の駅巡り（道の駅プレート収集）です。収集癖があるかもしれません。料理は食べるのも作るのも好きです。近くにおいしい料理屋さんがあれば教えてください。

皆さんとは 5～10 歳程離れていますが、この年齢ならではの悩みにも相談に乗れると思います。気軽に話しかけてください。皆さんと楽しい学校生活を送りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

3年2組 ティテンミン



新しい章

2018 年 4 月 2 日に苫小牧に着いてから、まだ一週間過ぎてなくても、色々なマレーシアと違うことを経験した。特に雪、日本料理などのことです。日本に来たら、スポーツをやる時に汗をあまりかかないぐらいの寒さを感じられています。

留学することは挑戦的で、難しいが、身の回りの人達にも大きな影響を与えます。幸いにも、担当者や先生方も優しく、先輩方も新しい友達も皆親切で、様々なことを教えてくれて、食べ物を買ってくれたこともありました。皆のおかげで、ここでの生活も楽になって来ました。そのため、本当にありがたいです。これからももっと面白くなって行くと思います。

奨学金がもらえるのは、夢にも思わなかったことだから、一生懸命勉強して、この機会を大切に、良い経験にしていきたいです。自分の家族、恩師と友達も絶対忘れないものです。苫小牧高専で皆と一緒に 3 年間を楽しみにしています。

3年3組 プレブドルジ ウーガンエルデネ



新しい生活

私は 3 年 3 組になったモンゴル人のオーギです。ここに来る前に東京で 1 年間日本語を習いました。日本に来てもう 1 年間経ったが、日本人の中に入ったのは初めてで、日本語をまだ習っているので通じない時もあり、モンゴルと違う習慣と文化がたくさんあります。ですから、今からもっと頑張って行きたいと思っています。入る部活をきちんと決めていないけれど、バレーボール部に入りたいと思います。モンゴル人なら冬が好きだと思われるが、私は意外に夏の方が好きです。苫小牧に着いた日は寒かったです。そして、最近想像していたより寒かったので冬になったらどうしようって心配しています。気候以外はクラスの皆も、先生たちも優しいからここに住む 3 年間を無駄にしないで充実に過ごしたいと思っています。

3年5組 ロフサンダグワ ビルグーン



日本を楽しみに

私はモンゴルから来た留学生です。日本語の勉強を始めたのは一年半前でした。その時、私は日本の「アニメ」と「相撲」以外に日本についてよく知りませんでした。でも、日本語を勉強した一年半で先生たちから日本の文化、自然の美しさ、日本人の優しさについていろいろ聞いて、絶対に日本にいてみたい、日本を体験してみたいという気持ちが私の中に生まれてきました。そして、その気持ちがきっかけになって、日本に留学するために一生懸命勉強しました。

今、苫小牧高専で勉強し、日本人の優しさ、日本の文化を体験してみて本当に嬉しいです。これからの 3 年も日本についていろいろ体験して、楽しく過ごしたいです。よろしくお願いします。

新入留学生紹介

学生会の紹介

学生会長 環境都市工学科5年 作内 響生

こんにちは。新入生が入学してから早二か月が経ちました。5月末の現在まで、学生会は対面式や、第1学年オリエンテーションなど、新入生に向けての活動が中心でした。これから春季体育大会や学校祭など、1年生が積極的に行事に参加する機会が増えてきます。学生会では行事の円滑な運営はもちろんのこと、1年生が初めて積極的に活動する行事で困らないよう積極的にサポートを行っていきたいと考えています。



行事予定

前期

4/2月~4/3(火)	春季休業
4/3(火)	新入寮生入寮日
4/4(水)	入学式・2~5年生入寮日
4/5(木)	始業式、対面式、第1学年ガイダンス、 新入寮生歓迎会、健康診断
4/6(金)	前期授業開始
4/19(木)~4/20(金)	第1学年オリエンテーション
4/20(金)	開校記念日(通常授業)
4/26(木)	歯科検診
4/27(金)	内科検診
5/2(水)	授業参観
6/4月~6/8(金)	特別時間割
6/14(木)	春季体育大会
6/15(金)~6/16(土)	寮祭
7/7(土)~7/8(日)	道内高専体育大会 (※一部の競技を除く)
8/1(水)~8/7(火)	前期定期試験
8/10(金)	閉寮日
8/13(月)~9/26(水)	夏季休業
9/26(水)	開寮日

後期

9/27(木)	後期授業開始
10/4(木)~10/5(金)	第3学年道内工場見学旅行
10/20(土)~10/21(日)	高専祭
11/2(金)	保護者懇談会
11/6(火)~11/9(金)	第4学年道外工場見学旅行
11/26(月)~11/30(金)	特別時間割
12/22(土)	閉寮日
12/25(火)~1/7(月)	冬季休業
1/7(月)	開寮日
1/10(木)	冬季体育大会
2/8(金)~2/15(金)	後期定期試験
2/22(金)	閉寮日
3/15(金)	卒業式・修了式
2/27(水)~3/31(日)	学年末休業

学生課からのお知らせ

本校の学生課は、担当する業務によって4つの係に分かれています。学生生活に直接関係のある各係の主な業務は次のようになっていますので、問い合わせや連絡は各係の直通電話をご利用ください。

なお、学生課には、保護者の皆様などから、電話での問い合わせや連絡などが多数寄せられます。こうした電話に対して、「担当係（担当者）に代わります。」などと、電話を回すことで、ご不便をおかけすることもあります。担当係（担当者）ごとに専門の業務を分担しておりますことをご理解願います。また、学生の呼び出しや伝言等の取り次ぎについては、緊急を要するもの以外は行っておりませんので、ご承知おきください。



教務係

直通電話 **0144-67-8001**

- ・授業、試験に関すること
- ・休学、復学、退学及び進級、卒業に関すること
- ・在学証明書、成績証明書、卒業証明書などの学生の諸証明に関すること
- ・学生証の申請に関すること
- ・担任に連絡がつかなかった場合の欠席等の連絡

学生係

直通電話 **0144-67-8032**

- ・奨学金（日本学生支援機構等）に関すること
- ・入学科、授業料の免除に関すること
- ・学生の保健管理（カウンセリングの申込等）に関すること
- ・学生の課外活動、行事等に関すること
- ・学生旅客運賃割引証及び通学証明に関すること
- ・就職、進学（大学への編入学試験等）に関すること

寮務係

直通電話 **0144-67-8002**

学生寮教員当直室（夜間緊急用 17:00 ~ 8:30） **0144-67-8024**

- ・学生の入寮及び退寮に関すること
- ・寮費の徴収など諸経費に関すること
- ・緊急の場合の外泊の連絡

図書係

直通電話 **0144-67-8907**

- ・図書の閲覧、貸出しに関すること
- ・学術文献の収集及び提供に関すること
- ・その他学術情報センターに関すること

卒業生・修了生へ贈る言葉

本科卒業生並びに専攻科修了生の皆さん、ご卒業、ご修了誠におめでとうございます。また、本日までご子息・ご息女を暖かく育ててこられました保護者の皆様におかれましても、お慶びはひとしおのことと拝察申し上げます。

さて、本科卒業生は本校にとりまして五十回目の記念すべき卒業生になります。皆さんは、これまでに卒業された先輩たちが各分野で営々と果たしてきた社会貢献の伝統を、更なる五十年に向かって後輩に引き継いでいくこととなります。苦小牧高専での教育および経験を糧として、地に足をつけ、しっかりと着実に自分の道を切り開いてください。これからは、すべての責任は皆さん自身が負うこととなります。このことを先ずはしっかりと自覚していただきたいと思っています。特に、皆さんがこれから歩んでいく社会は第四次産業革命と言われている時代に入っていきます。物と物とを繋ぐIoT、さらにはすべての物を繋ぐI・O・Eで蓄積されたビッグデータを基盤としてAIが進化し、生産業、物流・運輸、金融・サービス業など広範な分野で変革が起き、産業構造のみならず社会構造も大きく変化してくることになるでしょう。従来は文系分野と言われていた業種も技術者無くしては成り立たなくなってきました。その意味で、皆さんのこれからの未来はイノベーションが求められ大変なことは多いかと思いますが、技術者にとってやりがいのある社会が開けてくると思います。苦小牧高専で培った座学、実験、実習の基礎力を遺憾なく発揮し、明るい未来社会の構築へ向けて社会貢献していただくことが保護者の方々、教職員一同の強い願いです。

ただし、精神的にも肉体的にも無理をし過ぎることの無いよう自己管理する方法も是非身に付けてください。人間は思考力が高いが故に、精神的には動物のなかでは一番弱い生き物だと思えます。これからは社会に出ていろいろなことに悩むことも多いでしょう。そういうときは、ひとりで悩まず、必ず周囲の人を頼るようにしてください。ご家族や本校も皆さんのこころの故郷であり、いつでも相談にいけるんだということも覚えておいてください。人は、頑張らないといけないことも多いですが、常に張りつめていたら風船のように容易にパンクしてしまいます。中国の明の時代に書かれた「菜根譚」という随筆があります。根菜類のようにじつくりと味わい深くなりなさいという内容です。そのためにはどんな時も常に心に余裕を持って生きてゆくことを勧めている随筆です。現代にはちょっと緩すぎると感じる生き方かもしれませんが、人として生きてゆくための基本的姿勢が述べられています。是非一度読んでみることを

お勧めします。心に余裕を持っていろいろなことに取り組めるようになるのではないかと思います。

最後になりますが、皆さんには、これからの人生、失敗を恐れず、苦小牧高専の卒業生としての高い志を持って、地域、日本、世界のために貢献する気概と心の余裕を持って充実した人生を送ってくれることを保護者の方々とともに教職員一同心から願っています。

平成三十年三月十六日

苦小牧工業高等専門学校 第九代校長

黒川 一哉



います。本当に本当にありがとうございました。
 貴職員の生々方や先輩方にも沢山助けられてここまで来ることがで

また、教職員の先生方や先輩方にもお世話になりました。心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

最後に、在校生の皆さんへ、皆さんの頑張る姿に私も頑張ろうと思える力をくれました。皆さんにありがとうございました。学生生活は苦しいときの連続だと思いますが、私にもできたのだから皆さんでもきっとできると思っています。なので最後まで諦めずに頑張ってください。またいつか皆さんとまた会える日を楽しみにしています。

機械工学科 井上 実咲

贈る言葉



さて、贈る言葉ということで後輩たちに伝えたいことは“5年間は短い”ということです。普通の高校より2年も長いウクライナ語がないため、とても長く感じると思います。しかし、道外研修旅行、インターンなど様々な行事や勉強、時としてあるレポートの締め切りに追われるため、5年間はあっという間です。実際、自分も勉強や部活動などで、もっとやれることがあったと感じます。なので、計画性を持って生活することが大事だと思います。やりたいこと、やるべきことは先延ばしにしないで今からやる、これがたぶん、おそらく大事です。“明日ありと思う心の徒桜”意味は、明日やろうは馬鹿野郎です。後悔のない5年間で！

5年間を通して

A circular portrait of a young man with dark hair, glasses, and a goatee, wearing a white shirt. The background is a plain, light-colored wall.

また、寮生活を通して、情報工学科や他学科の友人ができました。寮では静かに過ごしていました。アニメ見たりゲームしたりの毎日でした。それでも寮で過ごせたことは本当に良かったです。

在校生の皆さん、思う存分学校生活を楽しんでください。時間は二度と戻ってきません。後悔しないために、勉強や部活に一生懸命励んでください。そして遊んでください。

情報工学科 菅原 吉平

高専生活を振り返って



の挑戦やグループで行うことが多かった学生実験等では、協調性を持って任された役割は最後までやり遂げるという、将来就職先でも必要な強みを持つことができ、部員やクラスの人との関わりに感謝しています。また5年生の卒研を通して、研究について正確にわかりやすく伝える工夫・努力を続けた結果、プレゼン力や苦手だった発信力も身に着けることができたと思っています。

最後になりますが私を支えてくれた皆さん、本当にありがとうございました。

卒業生・修了生から贈る言葉

高専パラダイスへの道



パラダイスにするためにはどうすればいいのか。答えは単純、受け身の概念を覆せばいい。確かに高専生活を送るにつれて不満や後悔が徐々に自分を押しつぶしていきます。ただ、それは学校のとりくみ環境や普段の授業等に対して常に受け身または客観的な姿勢をとっているから。学校をパラダイスにできない？それはただ人任せにしているだけ。苫高専が取り巻く環境はここに携わっている先生方や職員、清掃業者そして様々な会社の方々などが私たちの知らないところで成り立っている。決して勉強・学習だけがこの学校の全てではありません。高専を取り巻く環境を形成してくれている方々がいるのであれば我々学生はその環境に感謝し、その環境内にある学生内の環境に関しては学生内で解決していかなければなりません。

正直 苫高専は本当に恵まれた環境で勉強できる場所だと思います。

正直、苫高専を本当の意味でのパラダイスだと思うのは卒業一週間前くらいからかもしれません。苫高専に通い、そこに生う通生・寮生の友人とともに過ごした日々、そして五年間苫高専の取り巻いていた環境に気付く時、そこにパラダイスへの兆しがあります。感謝を忘れずに頑張ってください！

環境都市工学科 古木 達也

7年間を振り返って




 本専攻科に進学していました。
 私は本科時代から勉強やレポートの傍ら部活動に力を入
 れてきました。7年間在籍したバレーボール部と5年生から始めたダンス同
 好会。みんなで一生懸命練習したり先輩後輩との交流を楽しんだり、どちら
 も最高のクラブだったなと思います。5年生の時にはバレー部の部長も務め
 ましたので、この経験を社会人生活に活かしていけたらと思います。在校生
 の皆さんも自分が打ち込めるものを見つければ、今後の高専生活を楽しく過
 すごせると思います。

最後になりますが、これまでご指導いただいた先生方ならびに先輩方、共に学生生活を過ごした友人や後輩たち、そして両親や家族に心より感謝申し上げます。

電子・生産システム工学専攻 菅原 諒

高専生活は無駄じゃない！



い出です。その仲間達は、今、高専で学んだ知識も活かし、大学生や社会人として活躍しています。彼らの活躍を見て、このも含めて、高専で学んだことが無駄にはならないと自信を持って進学することができます。ところで、在校生の皆さんは実験やレポートを適当にやっていませんか？私も面倒くさいと思いながらやっていたこともありました。しかし、この時の経験は研究の計画や実験方法の組み立て、論文の作成などに全て活かされています。将来役に立たないとかその時思っているも、その知識は意外な時に役立つかもしれません。いつか使うかもと思って授業を受けていればモチベーションを高めながら生活できると思います。

環境システム工学専攻 岩山 大介

卒業生父母からの言葉

ありがとうございました！

機械工学科卒業生／野村 英志
父・母／野村 聡・小百合

卒業生、保護者の皆様卒業おめでとうございます。入学した当初は専門科目が多く、レポート提出も多かったため進級・卒業ができるか不安でしたが無事に卒業を迎えることができ、本当にうれしく思っています。ご指導頂きました先生、職員の皆様本当にありがとうございました。最新の設備で高度な技術と知識を教わり、卒業研究では親身なって教えてくださりました。優しく明るい友人達にも恵まれ毎日通えたことに感謝の気持ちで一杯です。

社会人として心がけていることをお伝えします。①調べる事を習慣化し課題の本質を洞察し自分なりに考える。②失敗した経験から学び自分のペースで前へ進む。③周りの人へ感謝の気持ちを忘れず、悩んだときは仲間や周りの方に相談できる関係を築いてください。卒業生の皆様がこの先、会社にとって人材から人財になれるよう祈念しております。最後に、これまでご支援くださいました皆様、本当にありがとうございました。

感謝の気持ちを忘れずに

環境都市工学科卒業生／橋本 采音
父／橋本 尚樹（苫小牧高専OB）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私も妻も苫小牧高専の卒業生ですが、当時受験生だった娘と進路のことで対立し、妻と二人で高専の素晴らしさについて何度も話をして強引に口説き落とししたことを思い出します。

私は当時の土木工学科を卒業後、地元の市役所に就職し土木技術職として職務に就いています。娘も環境都市工学科で学び、卒業後は同じ技術系の職種に携わる可能性が高いということで、これからも共通の話題が絶えないと思うと嬉しい限りです。

采音へ。入学して5年間、学業、バドミントン、ダンス、アルバイトなど、様々なことにチャレンジし経験を積んできましたね。たくさんの人との出会いと経験は、大きな財産としてこれからも役に立っていくことでしょう。

春からは、また新しい出会いが待っています。お話をしてくれる会社の先輩方への感謝の気持ちを常に忘れず、立派な女性社員になってください。

最後に、これまでご指導くださった教職員の皆様、共に支え合った学友の皆さんに、お礼を申し上げます。ありがとうございました。



卒業式写真

平成29年度

本科卒業生及び専攻科修了者の 進路状況について

平成29年度卒業生進路状況

学 科		機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	物質工学科	環境都市工学科	合計
求人会社数		640	668	496	406	458	2,668
卒 業 者 数	男	35	38	31	29	41	174
	女	3	2	5	10	3	23
進 学 者 数	男	11	12	17	13	15	68
	女	0	0	1	1	0	2
企 業 等	男	24	26	14	15	21	100
	女	3	2	4	8	3	20
公 務 員	男	0	0	0	1	3	4
	女	0	0	0	0	0	0
進 学 先		室蘭工業大学 (3) 宇都宮大学 長岡技術科学大学 豊橋技術科学大学 苫小牧高専専攻科 (4)	室蘭工業大学 (2) 宇都宮大学 千葉大学 長岡技術科学大学 豊橋技術科学大学 (2) 苫小牧高専専攻科 (5)	室蘭工業大学 (3) 豊橋技術科学大学 (5) はこだて未来大学 (3) 苫小牧高専専攻科 (7)	北海道大学 室蘭工業大学 帯広畜産大学 長岡技術科学大学 (2) 豊橋技術科学大学 苫小牧高専専攻科 (8)	北海道大学 室蘭工業大学 (5) 北見工業大学 新潟大学 埼玉大学 長岡技術科学大学 (2) 九州大学 立命館大学 苫小牧高専専攻科 (2)	
就 職 先		ANAバースメンテナンステクニクス㈱ DMG 森精機㈱ (3) SUBARU テクノ㈱ 王子エンジニアリング㈱ 王子製紙㈱ 苫小牧工場 カルビー㈱ キリンビール㈱北海道千歳工場 月島食品工業㈱ 東海旅客鉄道㈱ 東京水道サービス㈱ 日本ゼオン㈱(川崎工場 ファナック㈱ フジテック㈱ 北海道住電精密㈱ マルハニチロ㈱ 三菱電機ビルテクノサービス㈱ (株) JAL エンジニアリング (株) M テック (株) SUBARU (株) ケーヒン (株) ダイナックス (株) 日立ビルシステム (株) 前川製作所 (株) ワーカム北海道	JXTG エネルギー㈱ アイコム㈱ アズビル㈱ キャノンシステムアンドサポート㈱ サッポロビール㈱ サントリープロダクツ㈱ ソニーエンジニアリング㈱ 富士通㈱ 雪印メグミルク㈱ 王子エンジニアリング㈱ 三菱電機ビルテクノサービス㈱ 三菱電機プラントエンジニアリング㈱ 山崎製パン㈱ 出光興産㈱ 大陽日酸㈱ 中部電力㈱ 日鉄住金テックスエンジニアリング㈱ 北海道電気工事㈱ 北海道電力㈱ (2) 北海道富士電機㈱ (株) NHK アイテック (株) クリエイティブ・コンサルタント (株) ドコモ CS 北海道 (株) 日立ハイテクフィールディング (株) 日立ヘルスケア・マニュファクチャリング (株) 北海道 LIXIL 製作所 (株) 北海道日立	KDDI エンジニアリング㈱ NEC フィールディング㈱ NTT コムエンジニアリング㈱ NTT 東日本グループ会社 ウェルネット㈱ キャノンシステムアンドサポート㈱ クオリサイトテクノロジーズ㈱ コニカミノルタジャパン㈱ セイコーエプソン㈱ 日信電子サービス㈱ B77化-EI・ソリューション・サービス㈱ (株) DNP 情報システム (株) NHKメディアテクノロジー (株) NTT データ (株) セゾン情報システムズ (株) タマディック (株) ハイマックス (株) メディアサイエンス	DIC ㈱ JSR ㈱ サッポロビール㈱ サントリースピリッツ㈱ サントリープロダクツ㈱ ニプロ㈱ (2) 旭化成㈱ 花王㈱ (株) イワクラ (株) キールスタッフィング 丸善石油化学㈱ 出光興産㈱ 北海道製油所 (2) 森永乳業㈱ 佐呂間工場 大阪シーリング印刷㈱ 東洋インキSCホールディングス㈱ 日東電工㈱ 東北事業所 北海道エネルギー㈱ 北海道ガス㈱ 北海道石油共同備蓄㈱ 北海道曹達㈱ (一社) 日本血液製剤機構 千歳工場 北海道警察	岩倉建設㈱ 岩田地崎建設㈱ エヌティティ・インフラネット㈱ (2) サンケイ㈱ 高砂熱学工業㈱ 東海旅客鉄道㈱ 東洋建設㈱ 苫小牧港開発㈱ 日本高圧コンクリート㈱ 北海道電気工事㈱ 北海道ガス㈱ (2) 北海道電力㈱ (株) アリヤス設計コンサルタント (株) アルファ技研 (株) 開発工営社 (株) 鴻池組 (株) 水工技研 (株) つうけん (株) 中山組 (株) 濱谷建設 (株) 北海道水工コンサルタンツ 東日本高速道路㈱ (NEXCO 東日本) 東京都 新ひだか町 苫小牧港管理組合	

平成29年度修了者進路状況

学 科		電子生産システム工学専攻	環境システム工学専攻	合計
求人会社数		545	395	940
修 了 者 数	男	8	3	11
	女	2	0	2
進 学 者 数	男	2	2	4
	女	0	0	0
企 業 等	男	6	1	7
	女	2	0	2
公 務 員	男	0	0	0
	女	0	0	0
進 学 先		北海道大学大学院 長岡技術科学大学大学院	山梨大学大学院 長岡技術科学大学大学院	
就 職 先		エア・ウォーター㈱ ソフトバンク㈱ フジテック㈱ ヤマハ発動機㈱ (株) フォーラムエイト 三菱電機特機システム㈱ 富士通㈱ 川崎工場 富士電機㈱	飛島建設㈱	

平成 29 年度の進路状況の特徴としては、本科生対象の求人会社数が 6 年連続で順調に増加（平成 28 年度は 2,418 社、平成 27 年度は 2,256 社、平成 26 年度は 2,069 社）し、また専攻科生の求人会社数も例年に増して高水準を維持していることにあります。本科生 197 名（内 23 名が女子）の卒業生の進路は、49 名が道内就職、75 名が道外就職、70 名が進学する結果となり、例年と同様の傾向となりました。本校の卒業生の活躍が企業や大学に高く評価された結果と考えております。

しかしながら本校の学生は、これから迫りくる激動の時代を地域社会や企業のなかでリーダーとして生きていかなければなりません。そのために、仕事に対する自己イメージを持たせるような教育は重要であり、いくつになっても常に自分自身のキャリア・デザインができるような素地をこの高専の在学中に作ることが必要と考えております。このようなことを踏まえ、本校では、キャリア講話や創造工学の授業を通して、コミュニケーション力、協調性、多様な価値観への理解、将来の先見性、自分自身の理解など、社会に必要な力を持ってもらえるように、「組織的」「系統的」なキャリア教育の一層の推進に取り組んでまいります。

最後に、平成 30 年度より、キャリア教育センター内に同窓会「樽前会」の事務局を設置することとなりました。卒業して OB になった皆様にも本校に気軽にお越しいただく場所ができました。皆様のご来校を心よりお待ちしております。

キャリア教育センター長 須田 孝徳

地域共同研究センターの活動

地域共同研究センターのミッション

地域共同研究センター長 菊田 和重

今年度も引き続き地域共同研究センター長を務めることになりました菊田（機械系）です。今年度も地域への貢献と連携の更なる推進を皆さんと一緒に進めて行こうと地域共同研究センター一同で考えておりますのでご協力よろしくお願い致します。

地域共同研究センターでは、公開講座、出前授業や科学教室といった様々な地域貢献を行っております。また、140社にも及ぶ地元を中心とした協力会企業と連携し、教育・研究フォーラムを開催するほか、技術協力や共同研究への橋渡しなども行っております。これらの技術協力や共同研究は、企業の研究開発ニーズと本校の先生方が持つ研究シーズとのマッチングが重要になるため、企業のニーズを発掘するために市役所や財団、銀行の方々とチームを結成し、積極的に企業訪問を行うというような活動も行っております。

さて、学生の皆さんはどれだけ地域や地元企業のことをわかっているでしょうか？学生の皆さんだけではなく先生方もまだまだ知らないことの方が多いのではないのでしょうか。地域や地元企業が抱えている課題を知るには、地域の方々に学校が身近な存在だと感じてもらう、両者の距離を少しでも近いものにして行くしかないと思っています。この距離を縮めることも地域共同研究センターのミッションの一つになります。いくつか行われている地域の企業見学会や企業研究会への参加も、両者の距離を縮めるものだと考えておりますので、機会があれば是非積極的に参加して欲しいと思っています。

本校は文部科学省のCOC+事業の参加校になっていきます。COC+事業とは、学官民が一体となって魅力的な仕事（職場）を地域に創り出し、若者の地元への定着率を向上させようという事業です。地域共同研究センターが本校でのこの事業の実行部隊となっており、今年度も様々な事業計画を立てているほか、地域志向のカリキュラムの検討なども行っております。学生の皆さんには、COC+事業への理解を深めてもらい、地元を見直す契機になってもらえればと思っています。



出前授業

地域貢献の一環として、苫小牧市近郊の小・中学校や各種団体等に対し、地域の生涯学習環境の充実に貢献することを目的として出前授業を実施しています。ドライアイスの実験やバーチャルリアリティの体験等様々な授業を展開しています。



公開講座

主に小中学生を対象に、講座を通して「ものづくり」の楽しさを知ってもらうのがねらいです。実際にパソコンを使ってプログラミングしてみたり、実験装置を使って化学実験をしたりなど、高専での授業が体験出来る講座です。

理科をはじめとした学問への興味や科学技術に関心を持ってもらおうと、趣向を凝らした様々な講座が展開されています。



科学のとびら - 苫小牧高専実験教室 -

イオンモール苫小牧にて行われる大好評のイベントです。テーマごとにブースを設け、スライムを作ってみたり、レーザー加工機を使ってネームプレートを作ってみたりなど、様々な実験を実際に体験できる小・中学生向けの科学教室です。



ビジネス EXPO

北洋銀行ものづくりテクノフェア

毎年アクセスサッポロで開催される「ビジネス EXPO」や「北洋銀行ものづくりテクノフェア」。

地域の人に本校の活動や教職員や学生の研究内容を知ってもらい、本校のプレゼンスを高めるため参加しています。



他にもたくさんのイベントを開催しています！

退職教員からの挨拶



創造工学科特任教授
(機械系担当)

浅野 政之

私の人生の3番目の区切りが苦小牧高専勤務です。平成17年の晩秋の頃、面接に来ました。17番系統のバスで寄道しながらやっと高専に着きました。36号線で見えた北国の夕日に一抹の不安を感じましたが、事務職員の方のお茶で救われた気がしました。翌平成18年4月に赴任し、12年間大過なく過ごせたことは機械工学科を始めとする教職員の皆様のおかげと感謝しております。また、学生さん達との触合いは悩みも楽しいものでした。どうしてこう材料力学を苦手とするのか不思議でした。が、「理解するまで挑戦」が重要との結論に達し、「お百度参り」を編出し、嫌がられたものでした(チェックが大変だ!)。しかし、第2学年の工業力学Iから専攻科の弾性学まで付き合った学生さん達から、大きな花束と「先生お疲れ様でした。僕達まだ一年いますから、つぎの高専祭に来てください」との言葉を頂いた時は感慨無量でした。一方、研究のペースは今一だったと反省されます。

4月からは第4の区切りが始まります。今度こそは悔いを残さず楽しくと思っています、是非皆さんも。

人事異動

平成三十年三月三十一日付

教育職員

【定年退職】

創造工学科教授
(応用化学・生物系担当)

清水 祐一

創造工学科教授
(総合自然科学系担当)

山口 和美

【辞職】

創造工学科准教授
(総合自然科学系担当)

熊崎 耕太

【雇用期間の満了】

創造工学科特任教授
(機械系担当)

浅野 政之

創造工学科特任教授
(都市・環境系担当)

廣川 一巳

特命教授

鴨田 秀一

事務職員・技術職員

【辞職】

事務課長
学生課長

内藤 真一

(室蘭工業大学入試戦略課長)
総務課課長補佐(総務担当)

磯部 隆秀

(北海道教育大学学務部国際課副課長)
総務課課長補佐(財務担当)

養田 学

(室蘭工業大学研究協力課副課長)
総務課人事係事務補佐員

三國公理恵

総務課調達係事務補佐員

菅原 明美

平成三十年四月一日付

教育職員

【採用】

創造工学科助教(機械系系担当)

土谷 圭央(新規採用)

創造工学科助教(都市・環境系担当)

谷口 陽子(新規採用)

【配置換】

創造工学科教授(機械系担当)

當摩 栄路

(鶴岡工業高等専門学校創造工学科教授(機械コース担当))

創造工学科特任教授
(応用化学・生物系担当)

清水 祐一

創造工学科特任教授
(総合自然科学系担当)

山口 和美

事務職員・技術職員

【採用】

事務部長
学生課長
(小樽商科大学会計課長)

横道 勤

(旭川医科大学総務部総務課長)
総務課課長補佐(総務担当)

三浦 哲也

(北海道教育大学事務局財務部経理課係長)
総務課課長補佐(財務担当)

佐藤 忠淳

(室蘭工業大学経理課係長)
総務課施設管理係

伊藤 光春

学生課学生係

澤田 恭成(新規採用)

総務課財務係事務補佐員

清水真記子(新規採用)

学生課寮務係事務補佐員(寮母)

林 直美(新規採用)

学生課寮務係事務補佐員(寮母)

米沢絵理子(新規採用)

【配置換】

釧路工業高等専門学校事務部長

伊藤 恒明(事務部長)

学生課専門職員(入試担当)

小川 靖之

(学生課専門職員(留学生担当))

総務課総務係主任

大西 朋子(学生課教務係主任)

総務課人事係主任

築田 星子(総務課企画調査係主任)

総務課企画調査係主任

今野みちる(総務課財務係主任)

総務課施設管理係主任

齊藤 里奈(総務課総務係主任)

【復帰】

学生課教務係

小幡 修平

(北海道大学医学系事務部総務課(庶務担当))

北海道大学北キャンパス合同事務部
(総務担当)

石橋 舞子(総務課人事係)



教育理念・学習目標等

(平成25年4月改定)

教育理念

豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、
技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、
社会の発展のために活躍できる人材を育てる。

本科学士の学習目標

- I 人間性： 正課、行事、課外活動等を通して、豊かな人間性と教養および自主自律の精神を身につける。
- II 実践性： 創造力の基礎として、実践力および将来に向けて自らを向上させる学習習慣を身につける。
- III 国際性： 世界に目を向ける姿勢と教養およびコミュニケーションの基礎能力を身につける。

専攻科学生の学習目標

- I 人間性： 正課、校外活動等を通して、豊かな人間性と教養および広い視野を身につける。
- II 実践性： 複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力を身につける。
- III 国際性： グローバルに活躍するための教養とコミュニケーション能力および相互理解の精神を身につける。

※専攻科で育成しようとする技術者像は、「教育理念」および「専攻科学生の学習目標」

「環境・生産システム工学」教育プログラム」の学習・教育到達目標（対象： 本科第4学年～専攻科）

- (A) 教養： 地球的視点で自然や環境を考え、歴史、文化、社会などについて広い視野を身につける。
- (B) 倫理と責任： 技術者としての倫理観や責任感を身につける。
- (C) コミュニケーション： 日本語で記述、発表、討論するプレゼンテーション能力と国際的な場でコミュニケーションをとるための語学力の基礎能力を身につける。
- (D) 工学基礎： 数学、自然科学、情報技術および工学の基礎知識と応用力を身につける。
- (E) 継続的学習： 技術者としての自覚を持ち、自主的、継続的に学習できる能力を身につける。
- (F) 専門の実践技術： ものづくりに関係する工学分野のうち、得意とする専門領域を持ち、その技術を実践できる能力を身につける。
- (G) 複合領域の実践技術： 他の専門領域も理解し、自身の専門領域と複合して考察し、境界領域の問題解決に適用できる応用技術を身につける。
- (H) 社会と時代が求める技術： 社会や時代が要求する技術を認識し、それらを応用してシステム化や製品化するデザイン能力、開発能力、とりまとめ能力を身につける。
- (I) チームワーク： 自身の専門領域の技術者とは勿論のこと、他領域の技術者ともチームを組み、計画的かつ円滑に仕事を遂行できる能力を身につける。

英語コミュニケーション能力の学年目標

第1学年：英検準2級 第2学年：英検準2級～2級
第3学年：英検2級 第4学年：TOEICスコア 450
第5学年：TOEICスコア 500
専攻科第1学年：TOEICスコア 550
専攻科第2学年：TOEICスコア 600
(大手企業が大学卒業者に求めるTOEICスコアは、およそ600以上)

研究の目的・社会貢献の目的

学術の進展に教育内容を即応させるため、必要な研究を行う。
また、研究活動や地域への教育活動等を通して、地域・社会の発展に寄与する。

TOPICS

TOPICS
01

学生寮で予餞会が開催されました

1月29日(月) 女子寮は17時30分、男子寮は18時から、平成29年度の予餞会が開催されました。
毎年学年末近くのこの時期に、卒業を控えた5年生を送り出すために開催されており、校長先生・寮務主事・寮長の挨拶の後、男子寮はビデオ上映、学年対抗ゲーム大会や抽選会、女子寮はビンゴ大会やビデオ上映などを行い、それぞれ楽しい時を過ごしました。

TOPICS
02

ソフトウェアテクノロジー部が HOKKAIDO 学生アプリコンテスト 2018 で受賞しました

ソフトウェアテクノロジー部の部員7名が、2月23日(金)にTKPガーデンシティ札幌駅前で
行われたHOKKAIDO 学生アプリコンテスト2018の最終審査に参加しました。

本コンテストには34チームからアプリの応募があり、当日は書類選考を通過した本校を含む
9チームからアプリのプレゼンテーションが行われました。

本コンテストはモバイルアプリケーションの企画力、デザイン力、プログラム力を有する学生を表彰することにより、
学生のモバイル分野に対する関心を高め、次代を担う高度なモバイルIT人材の発掘・育成に寄与することを
目的として、2013年に北海道経済産業局が主体となり始まりました。

専攻科学生がメンターの役割を担い、昨年10月よりソフトウェアテクノロジー部の2年生から構成されたチーム
でアプリを企画、設計、実装を進めていきました。最終審査のプレゼンテーションも、他は大学生や専門学校生ばかり
の中、2年生とは思えない堂々としたもので、ハ・ン・ド賞を受賞することができました。また、アプリに関する講評
をその場でいただくことができ、今後の新規にソフトウェアを設計するときの指針として役立てられるものと思います。



TOPICS



北海道警察サイバーセキュリティ対策本部と協定を締結しました

3月2日(金)に、苫小牧工業高等専門学校は北海道警察サイバーセキュリティ対策本部とのサイバーセキュリティの分野における人材の育成に関する協定」を締結いたしました。

この協定は、サイバーセキュリティの重要性についての理解と新しい脅威に対する適応力を持った社会におけるセキュリティリーダーの育成を目指して結ばれたものです。

今後はサイバーセキュリティ対策本部員の方による教養講義の実施、情報工学の利点を取り入れたサイバーセキュリティに関する実態調査・分析を進めていく予定です。

調印式では、黒川校長から「サイバーセキュリティの分野で活躍できる卒業生を送り出したい」、永嶋本部長からは「苫小牧高専の持つ技術的ノウハウと北海道警察が取り組むサイバー空間での脅威への対策を融合させ、双方の強みを生かした実り多い取り組みとしたい」との抱負が述べられました。



ロボットテクノロジー部が第38回苫小牧技能祭において高専ロボコン出場ロボットを出展しました

ロボットテクノロジー部の部員11名が、3月4日(日)に苫小牧地域職業訓練センター・道立苫小牧高等技術専門学院において開催された苫小牧地区技能士協会主催の第38回苫小牧技能祭において、高専ロボコンに出場したロボットの動態展示をしました。

ロボットテクノロジー部は、苫小牧地域への貢献の一環として平成20年(2008年)より苫小牧技能祭への出展をしており、地元の子供たちや市民の皆様にも「ものづくり」の面白さを伝え続けております。今年の展示では、たくさんの小さな子供たちに自分たちよりも大きなサイズのロボットを操縦してもらいました。同時に、参加しましたロボットテクノロジー部の部員たちにとっても、ロボットコンテストにおいて競技に勝ち進むだけでなく、皆さんに見て楽しんでほしいという部員たちのロボット製作の目的を達成させるための充実した機会となっています。



学生寮で入寮式・新入寮生歓迎会が行われました

平成30年4月3日(火)15時より、入学式に先立って本校学生寮において入寮式が行われました。第1学年男子76名、第1学年女子12名、第3学年へ編入する留学生3名、合わせて91名が入寮しました。見藤寮務事からの入寮許可宣言のあと、在寮生を代表して男子寮・女子寮それぞれの寮長が歓迎の言葉を贈り、新入寮生代表がこれからの決意を込めて宣誓を行いました。

また、引き続き、新入寮生及び保護者の方々を対象として、全体説明会が行われ、学生寮担当教職員、指導寮生の紹介や寮生活における注意事項等の説明がありました。

この日から新入寮生達は、それぞれの夢の実現のため、学習環境の整った蒼冥寮・楓和寮での生活をスタートしました。

また、4月5日(木)には、新入寮生歓迎会を楓和寮は18時から多目的ホールで、蒼冥寮は19時から食堂で行いました。どちらも例年どおり寮長や指導寮生の挨拶、新入生の自己紹介等が楽しく行われ、楓和寮ではビンゴゲームなども楽しみ、盛会のうちに終了しました。



始業式・対面式が行われました

4月5日(木)、本校第二体育館において始業式が挙行されました。校長訓話の最後に、新任の先生の紹介がありました。

始業式に引き続いて、学生会による新1年生と第2学年以上の在校生の対面式が行われました。

対面式では、学生会長と新1年生各クラス代表の挨拶の交換が行われました。



第1学年オリエンテーションを実施しました

平成30年4月19日(木)から20日(金)の2日間、洞爺サンパレス(洞爺湖温泉)において、第1学年オリエンテーションを実施し、学生・教職員合わせて216名が参加しました。

この行事は、「(1)高専生活をスタートする上での生活や学習上の注意点を理解する。(2)学校生活の目標を定める。(3)クラス・学年の親睦を図る。」ことを目的に実施されております。開講式の後、国立日高青少年自然の家中西氏による「コミュニケーションゲーム」に続き、北海道警察サイバーセキュリティ対策本部大石氏による「SNS等に関する講演会」、先輩学生から「キャリア講演会」が行われました。

2日目はSCORA北海道による「性に関する講演会」、学生主事からの講和、先輩学生への質問などが行われ、学生は普段と違った環境の中、真剣に行事に取り組み、クラスを超えた交流も深まりました。



書道部がイオンモール苫小牧で書道パフォーマンスをしました

書道部が、4月29日(日)11時からと13時30分からの2回、イオンモール苫小牧で書道パフォーマンスを行いました。

「兜」「敬愛」「不言実行」などを題材としたところ、午前の部、午後の部とも1階・2階に多数の来場者が詰めかけ、「皆で一つの作品を作り上げていく様子に感動した」という声や、大きな拍手を頂きました。



高専通信 vol.148

CONTENTS

- 01 新入生へ贈る言葉
- 02 在校生からのメッセージ
新1学年担任からのメッセージ
- 03 各副校長ご挨拶
- 04 新任教員挨拶
新入留学生紹介
- 05 学生会の紹介
- 06 学生課からのお知らせ
- 07 卒業生・修了生へ贈る言葉
- 08 卒業生・修了生から贈る言葉
- 09 卒業生父母からの言葉
卒業式写真
- 10 本科卒業生及び専攻科修了者の進路状況について
- 11 地域共同研究センターの活動
- 12 退職教員からのご挨拶・人事異動
- 13 教育理念・学習目標等
- 14 TOPICS

編集後記

平成30年度最初の高専通信では、昨年度末から新年度にかけての本校の動きをお届けします。3月には186名の本科生と23名の専攻科生が旅立っていきました。そして4月には200名の新1年生、3名の留学生、26名の専攻科生を新たに迎えました。また、3名の教員も迎えました。今年の苫小牧の春は例年より早く樽前山の雪が解け、ゴールデンウィーク後にはクラブ活動で日焼けした学生が多く見られました。

本年度も高専通信により学校の様子を年3回に分けて皆様にお伝えします。最新のニュースは本校のホームページに掲載しております。また、本校のFacebookでもカジュアルな情報も配信しております。そちらもご覧になって頂ければ幸いです。

総務主事 古崎 毅

2018年6月発行

《高専通信に関するお問い合わせ先》

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443 苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係／TEL 0144-67-0213
<http://www.tomakomai-ct.ac.jp/>／メールアドレス pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

